



安全管理室 NEWS

学校法人立命館 安全管理室
第 28 号
[2016 年 4 月発行]

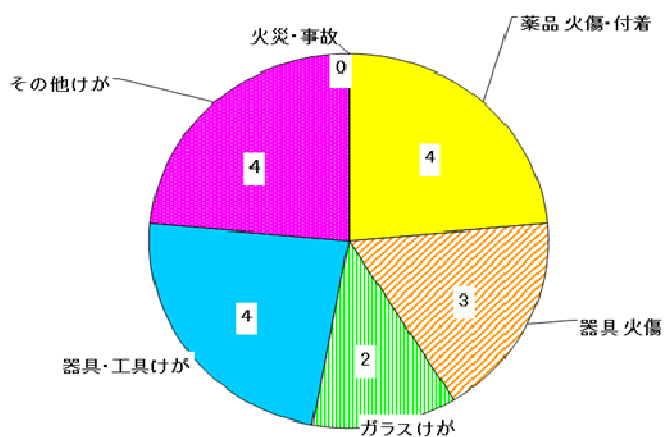
■2015 年度実験・研究中の事故・怪我の発生状況について



2015 年度の実験・研究中に発生した事故や怪我の発生状況、怪我の特徴等を報告します。

2015 年度の発生件数は計 17 件(2014 年度計:30 件)で、昨年度より減少しています。理工系学部・研究科で研究室・実験室での安全管理の取り組みが進んでいる証左と考えます。怪我の原因、症状は、薬品や器具によるやけどが 7 件、ガラスや機械工具による怪我が 6 件、その他の怪我 4 件も含め、ほぼ軽微な事故・怪我の状況でした。

実験中の事故・怪我/症状原因別分類 (2015年度)



グラフにはありませんが、怪我をした部位は手(指)が 12 件と全体の 7 割以上になります。怪我の多くは、必要な保護具を着用するなど比較的簡単な対策で防ぐことができるものと思われます。保護具の着用を徹底するようにお願いします。

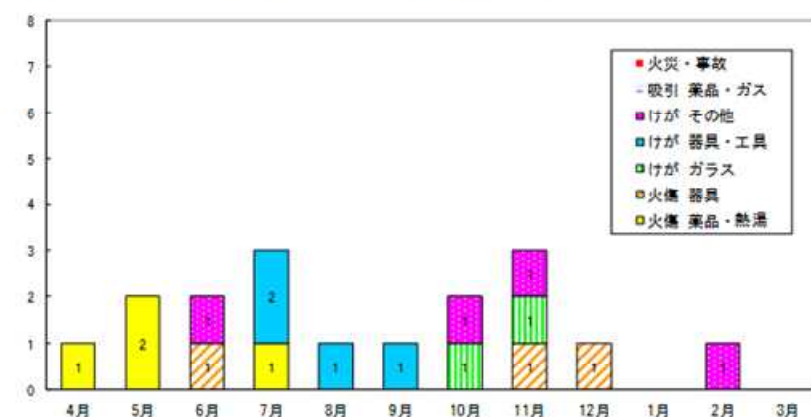
事故や怪我の多くは、怪我の治療のため保健センターを訪問することにより把握できたものです。正確な実態把握および再発防止に向けた取り組みを検討するため、実験中に事故が発生した場合は「事故発生時の連絡票」を、事故に至らなくても危険を察知した場合は「ヒヤリハット備忘録」をそれぞれ安全管理室宛に提出いただくよう、ご協力をお願いします。

(書式は安全管理室 HP に掲載しています)

学部学科別に見ると、理工学部・理工学研究科 8 件、生命学部・生命科学研究科 5 件、薬学部・薬学研究科 3 件、その他 1 件でした。

月別に見ても、特定の月・時期ではなく年間を通じて様々な怪我が発生していることがわかります。時期や季節にかかわらず注意が必要です。

実験中の事故・怪我/月別発生件数 (2015年度)



実験室での飲食禁止について

「理系実験のための安全マニュアル」で、「実験室内は飲食厳禁」を謳い、各種安全講習会でも徹底を図っていますが、研究室・実験室の安全巡視を行う中で、薬品が置かれた実験台の直ぐ横で飲食を行っている事例が散見されます。改善をお願いします。

■生命科学部、薬学部の基礎演習クラスで安全講習会を実施しています

4月から5月にかけて、生命科学部と薬学部のすべての基礎演習クラスで理工系実験の安全管理と防火・防災に関する安全講習会を実施しています。



九州地方での地震による被災状況が明らかになる中で、当日は地震や火事の際の行動や日常の心構え、BKCにおける実験や廃棄物処理のルール等を説明した後、野外で学生全員が消火器や屋内消火栓を実際に使用する消火訓練を実施しています。

今後は内容の充実はもちろん、他学部への拡大も検討しています。ご意見やご希望がありましたら安全管理室までお知らせください。



■理工系分野別安全講習会を開催しました



3月末から4月上旬にかけて、「安全管理室ニュース」第27号でお知らせした分野別(①薬品管理システム、②局所排気装置、③試薬、④廃棄物処理、⑤高圧ガス、⑥液化窒素)の安全講習会を各2回、計12回開催しました。今後本格的に理工系実験に携る皆さんは、講習で学んだ内容を活かし、実験における安全管理に努めて下さい。なお、液化窒素の利用者登録(講習参加者に限る)は、所定様式を使い研究室毎まとめて登録をお願いします。

発行: 学校法人立命館安全管理室

〒525-8577 滋賀県草津市野路東1丁目1-1

びわこ・くさつキャンパス アクロスウイング1階

電話番号: (外線)077-599-4175 / (内線)515-7031 FAX 番号: 077-561-4942

電子メール: anzenka@st.ritsumei.ac.jp

HP アドレス: <http://www.ritsumei.ac.jp/safetymanagement/>

* 安全管理室 NEWS のデータ版も HP に掲載しています。